

1990年の出生および死亡パターン を用いた人口シミュレーション

112016 田島 里華

安定人口理論とは

安定人口理論とは

- 詳しくは吉田君
- 年齢別出生率・年齢別死亡率一定
↓長期間
- 年齢構成比一定の年齢構造
 - はじめの年齢構造とは無関係
 - 安定 = 年齢構成比率、not総人口

1990年の出生・死亡パターン

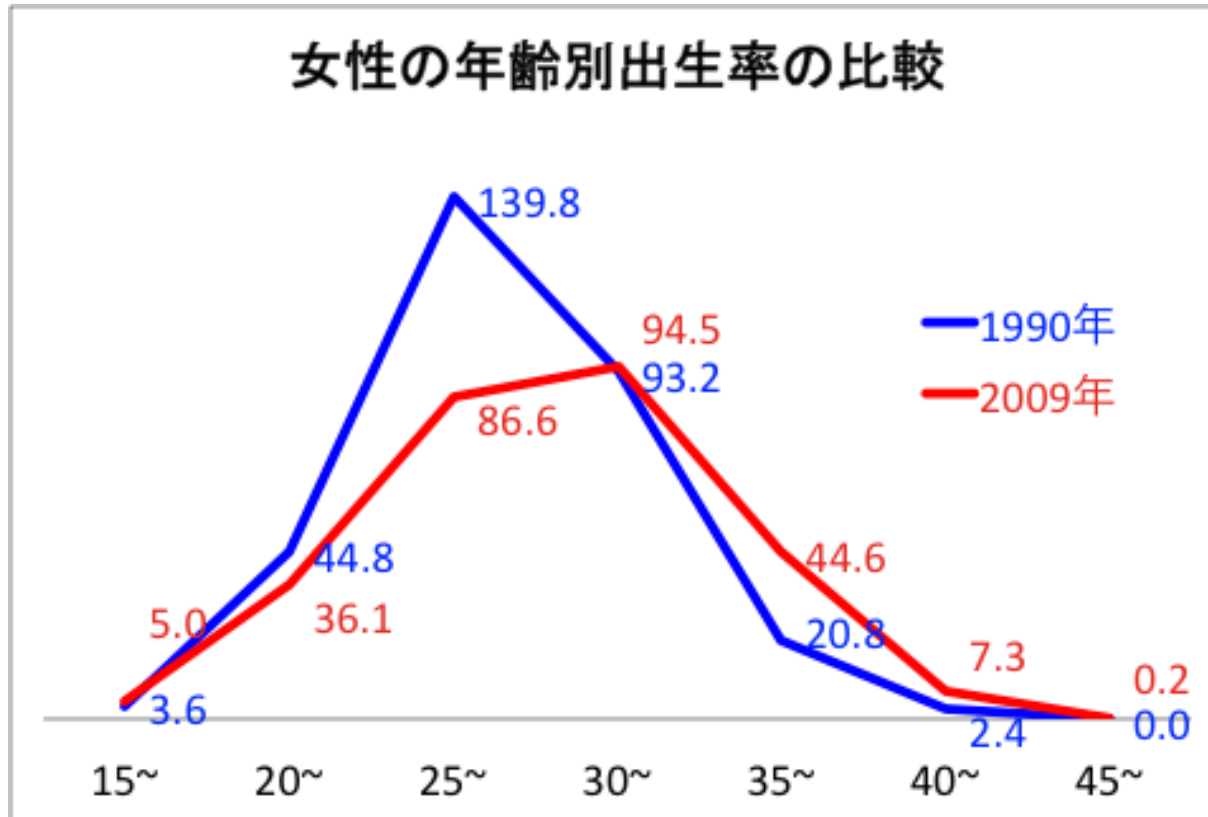
出生パターン

- 1990年の出生比 男:女=105.4:100
- 全人口に対する出生率(対千人) 1.54

年齢(歳)	出生率	男児出生率	女児出生率
15~	3.6	1.8	1.8
20~	44.8	23.0	21.8
25~	139.8	71.7	68.1
30~	93.2	47.8	45.4
35~	20.8	10.7	10.1
40~	2.4	1.2	1.2
45~	0.0	0.0	0.0

- 1) 対日本人女性人口千人

出生パターン



- 出産年齢の上昇
- 対総人口千人の出生率 1.54→1.37の減少
- 対女性人口千人の出生率 39.2→40.3と増加

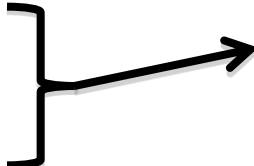
死亡パターン

年齢(歳)	死亡率(対千人)	
	男	女
0~	1.4	1.1
5~	0.2	0.1
10~	0.2	0.1
15~	0.6	0.2
20~	0.8	0.3
25~	0.7	0.3
30~	0.8	0.5
35~	1.2	0.7
40~	1.8	1.0
45~	3.2	1.7
50~	5.1	2.5
55~	8.7	3.7
60~	13.2	5.7
65~	19.5	9.4
70~	33.3	16.9
75~	58.0	32.0
80~	100.2	62.1
85~	165.5	117.6
90~	252.1	197.5
95~	366.6	308.8
100~	566.8	468.7

1990年の90歳以上の年齢別人口構成が不明であったため、90歳以上の群の死亡率を

- 90~94歳
- 95~99歳
- 100歳以上

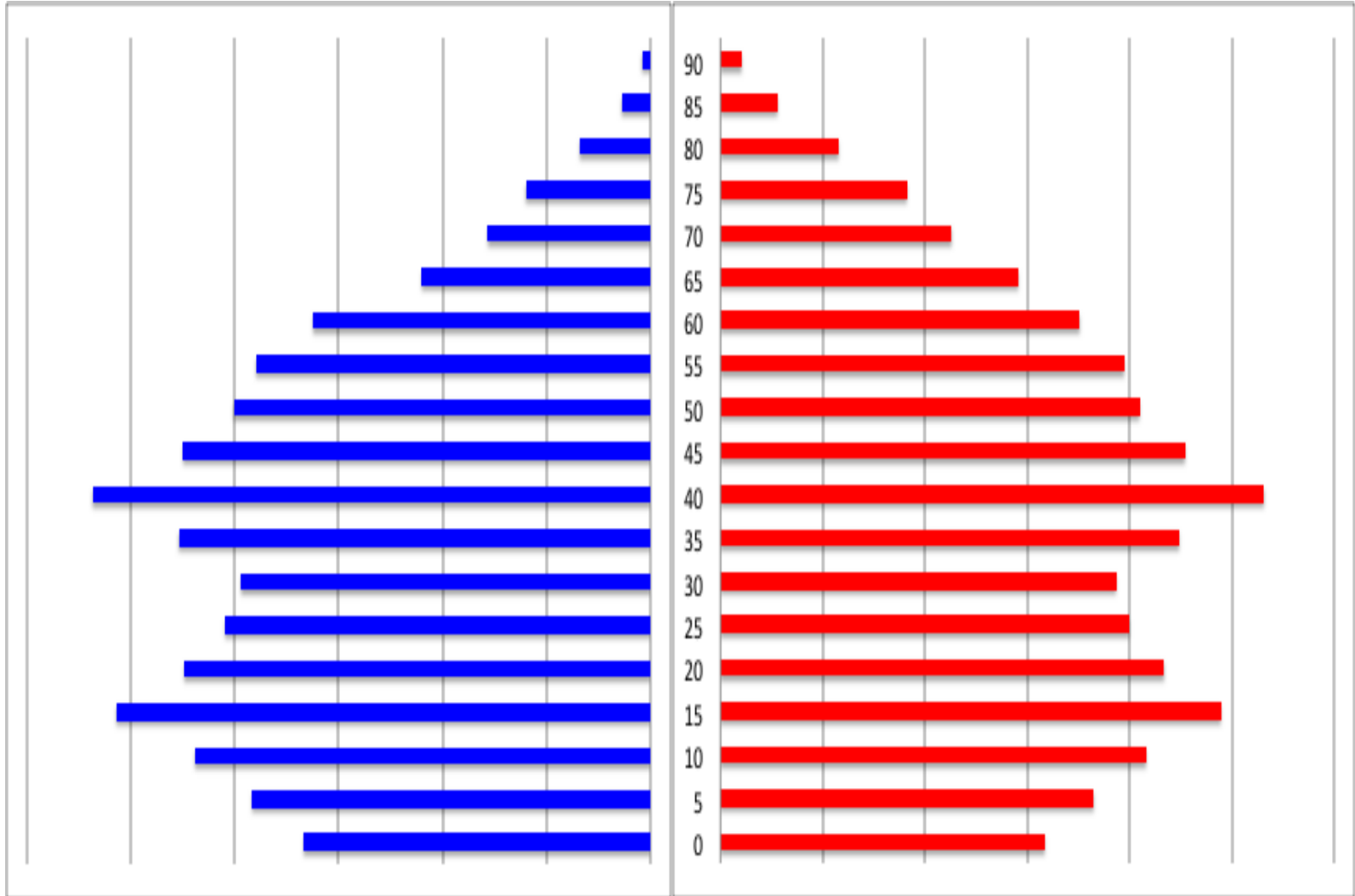
の3群の死亡率の算術平均で代用した



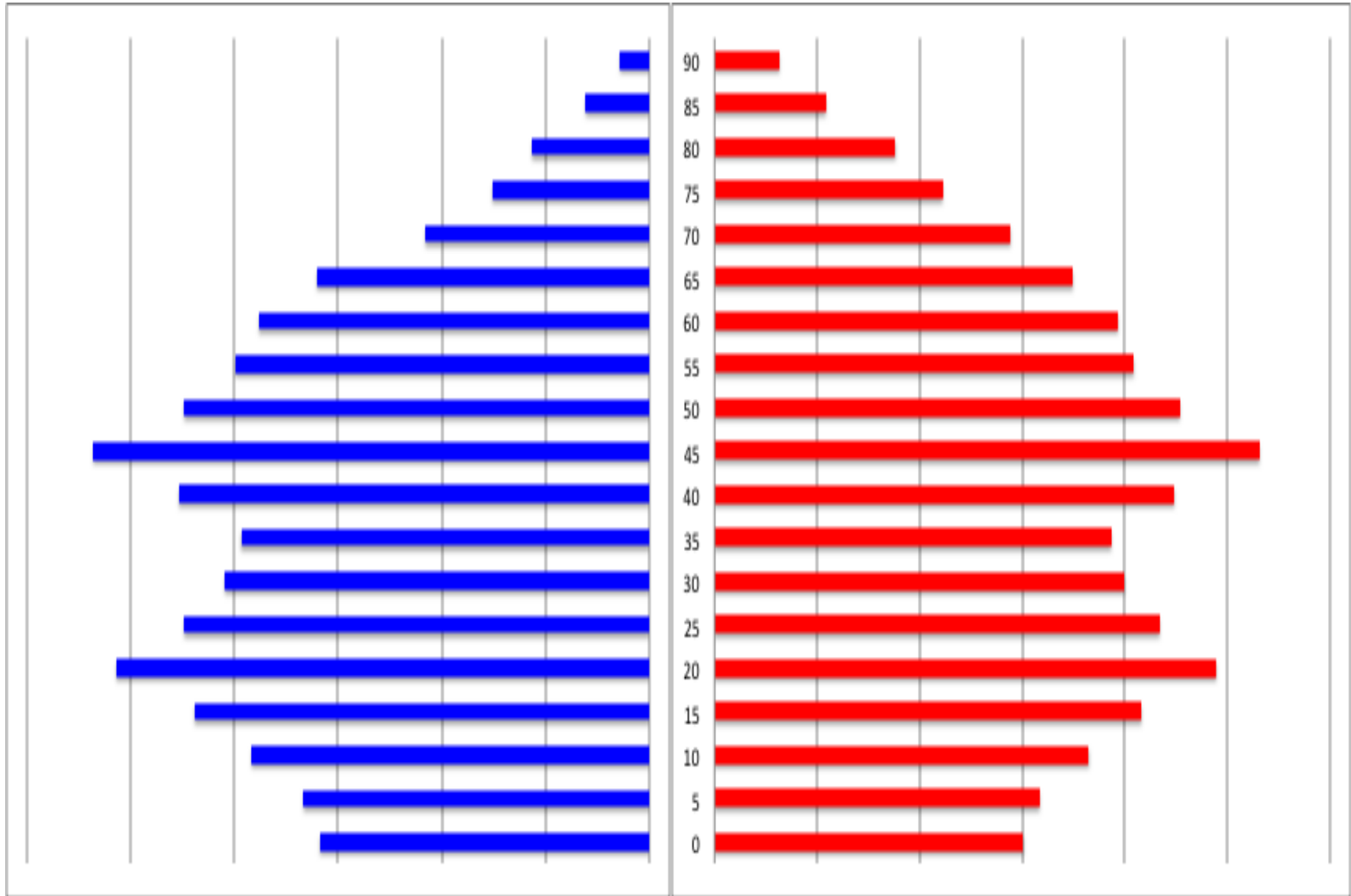
年齢(歳)	死亡率(対千人)	
	男	女
90~	395.2	325.0

人口ピラミッドでみる推移

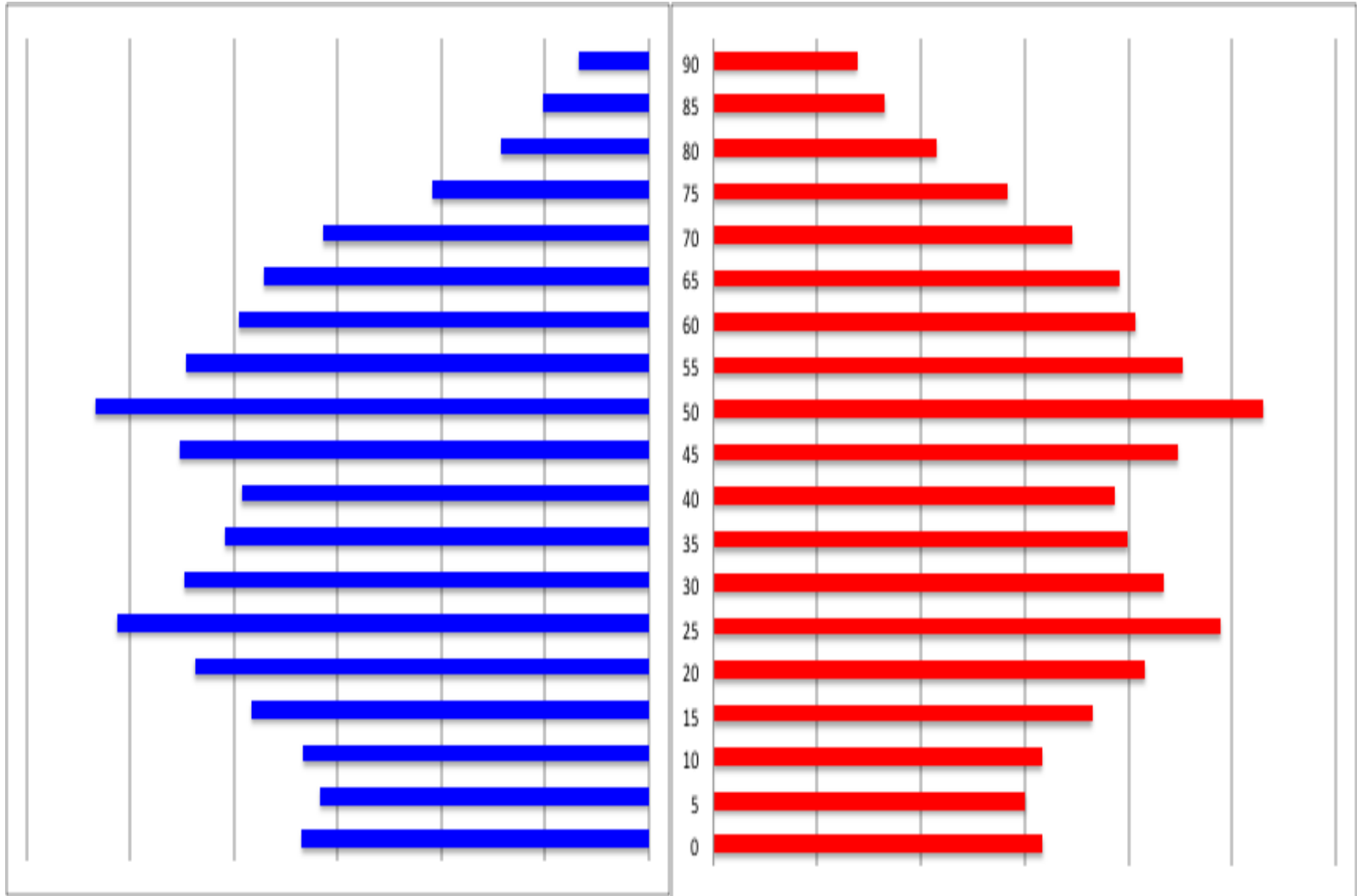
1990年(實際)



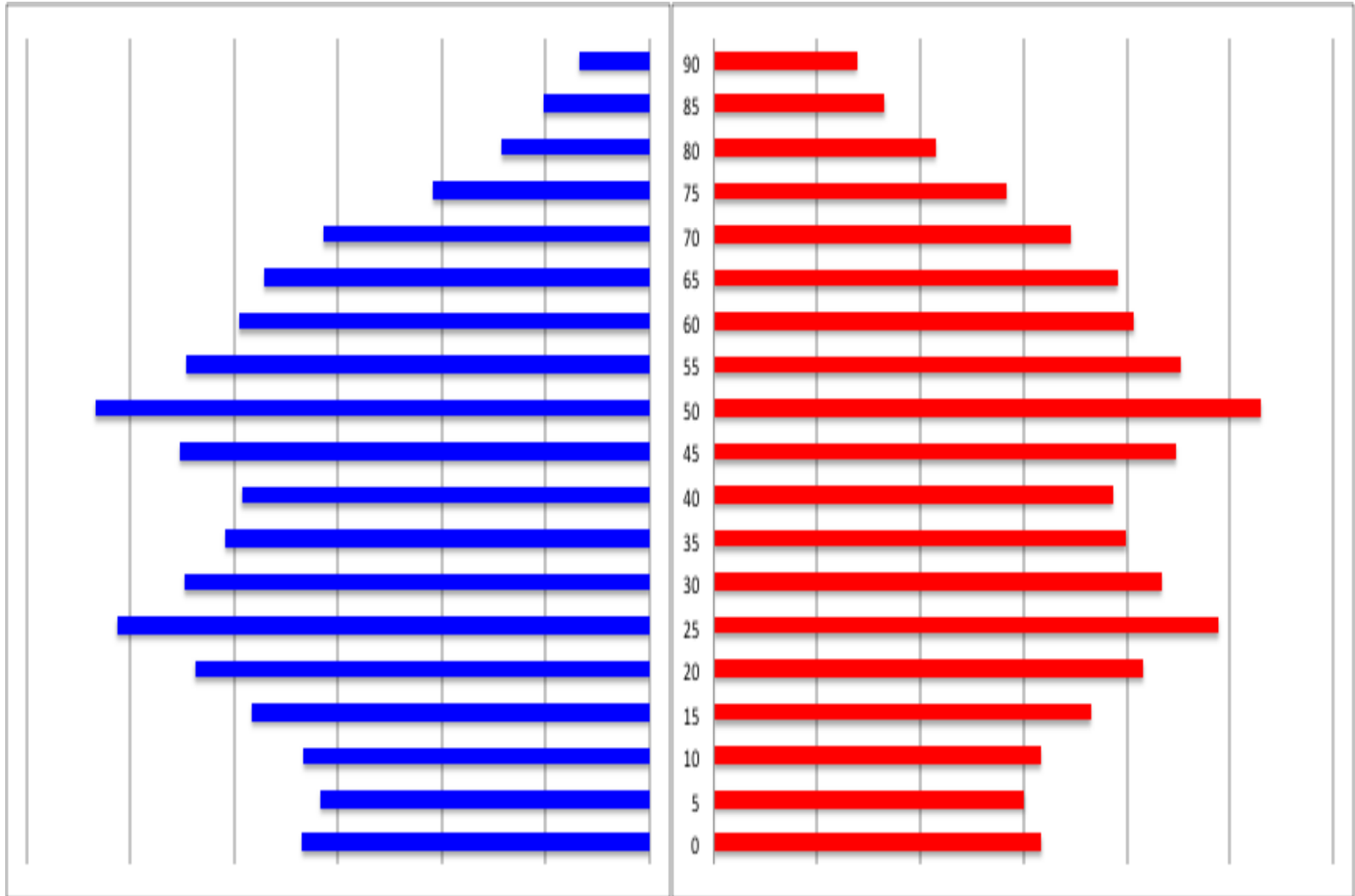
1995年



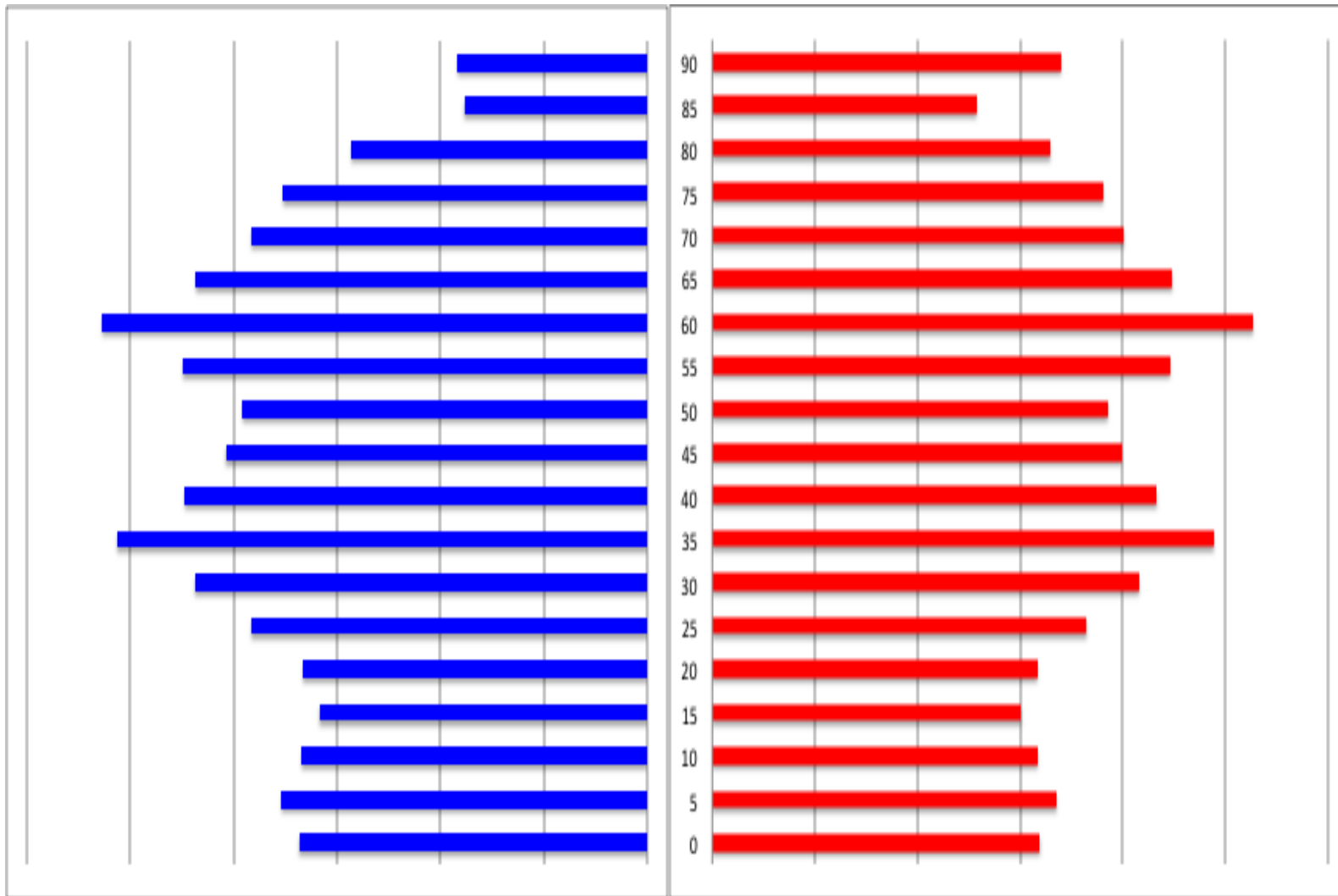
2000年



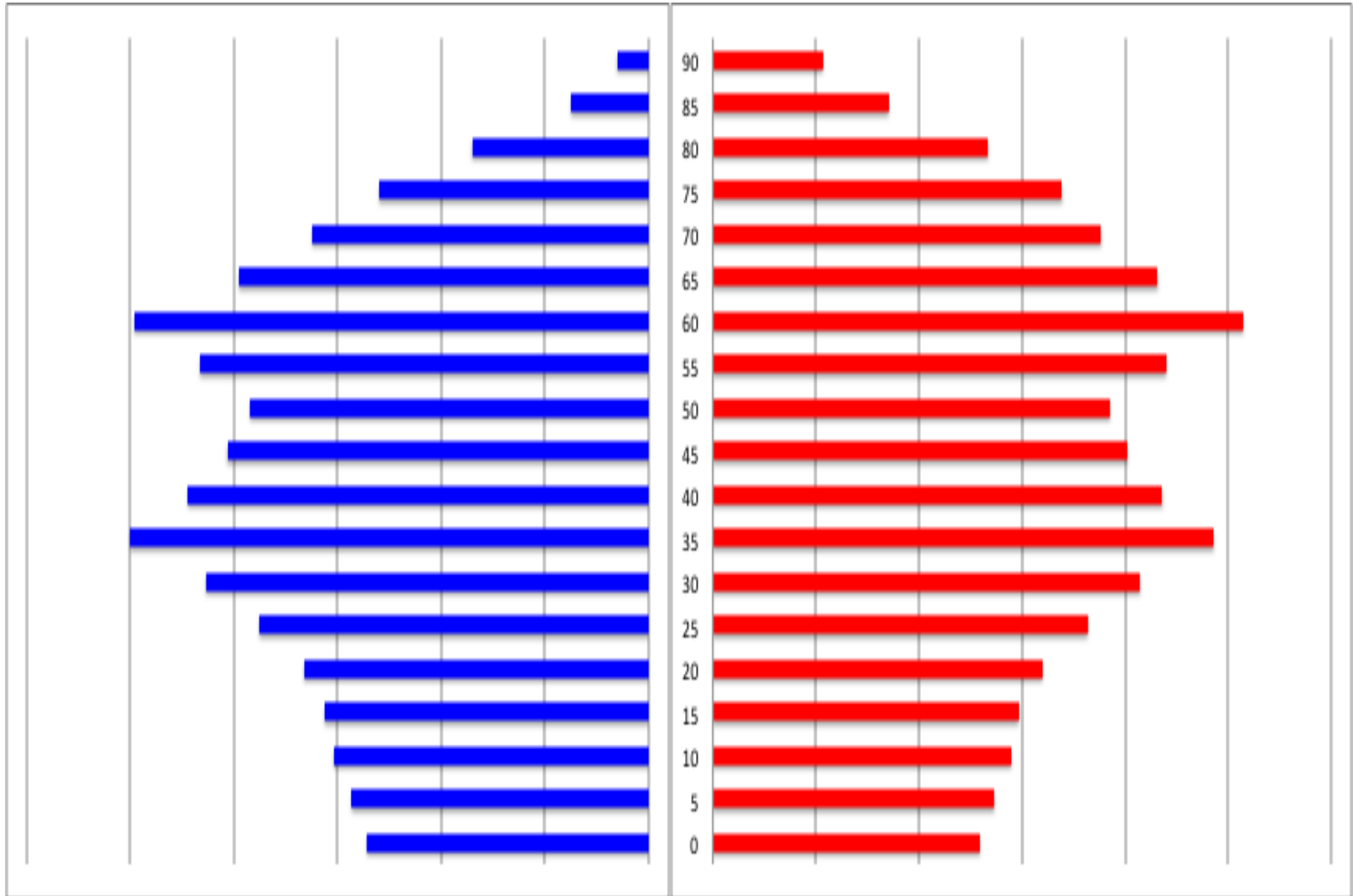
2005年



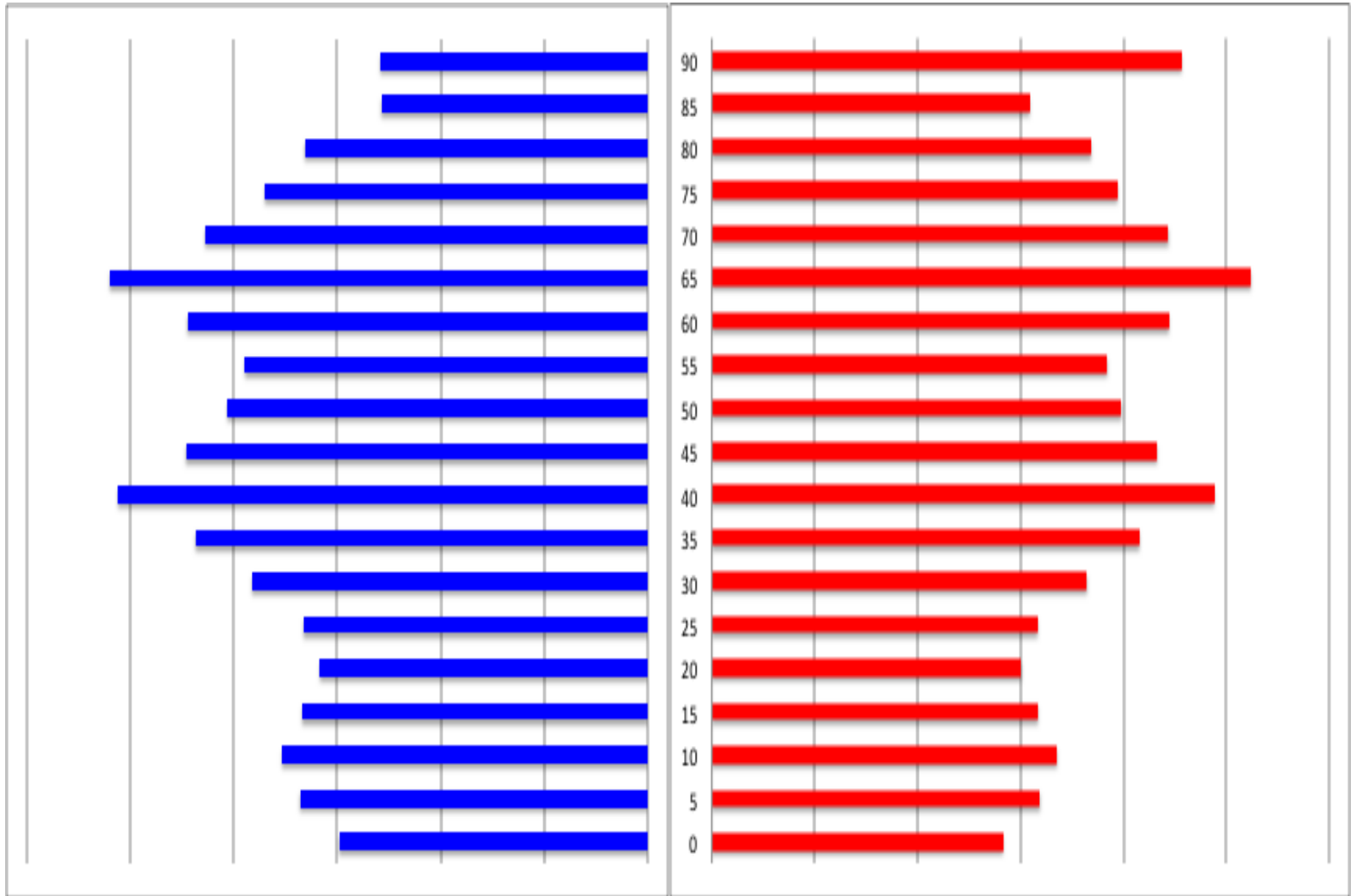
2010年



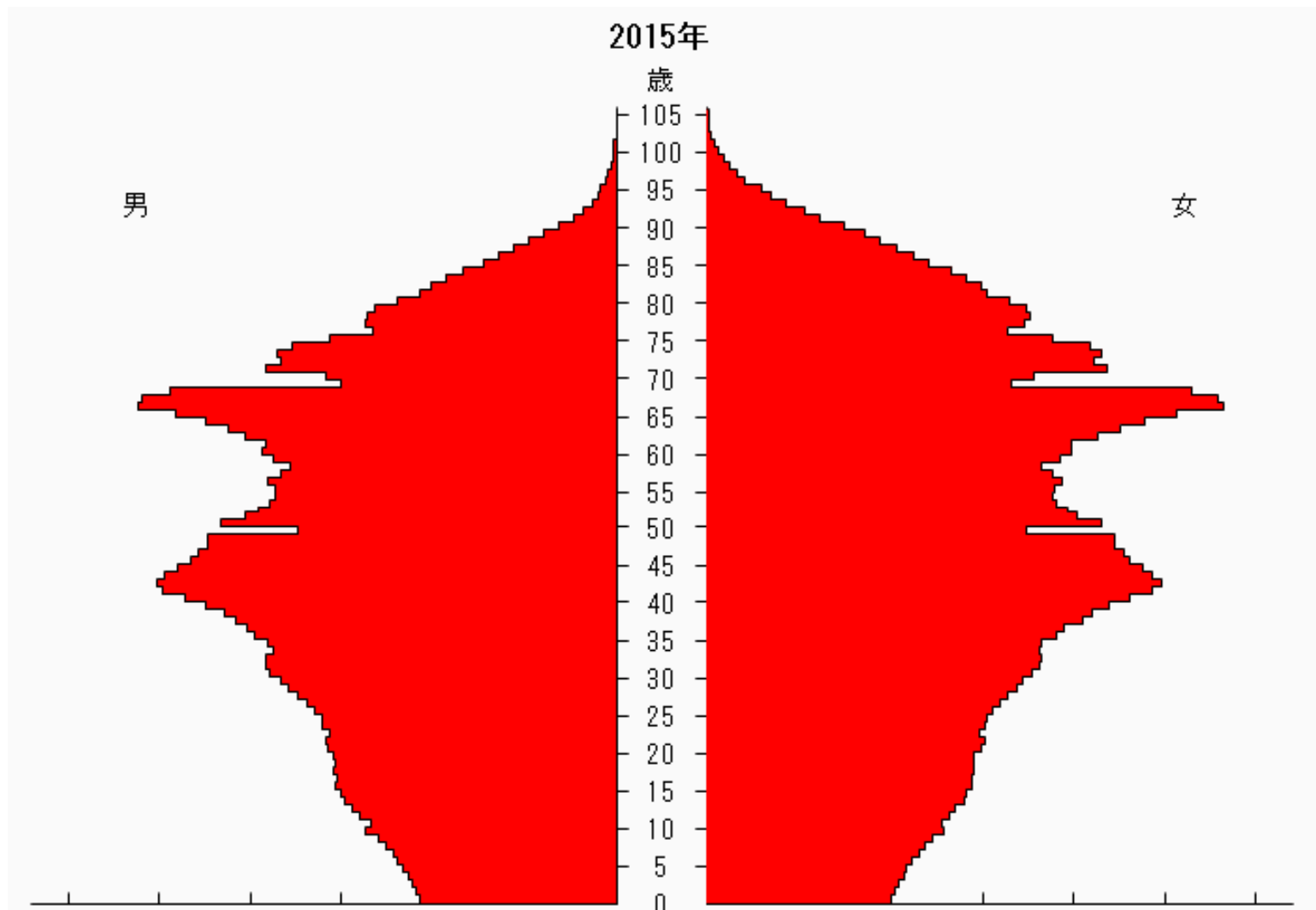
2010年(実際)



2015年

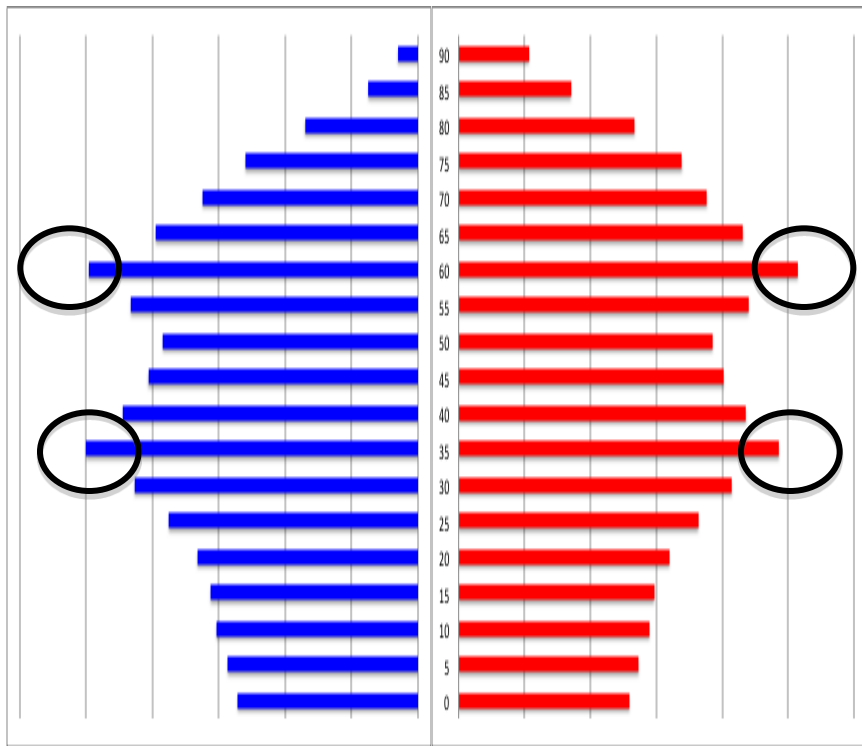


2015年(人口問題研究所推計) 出生中位、死亡中位

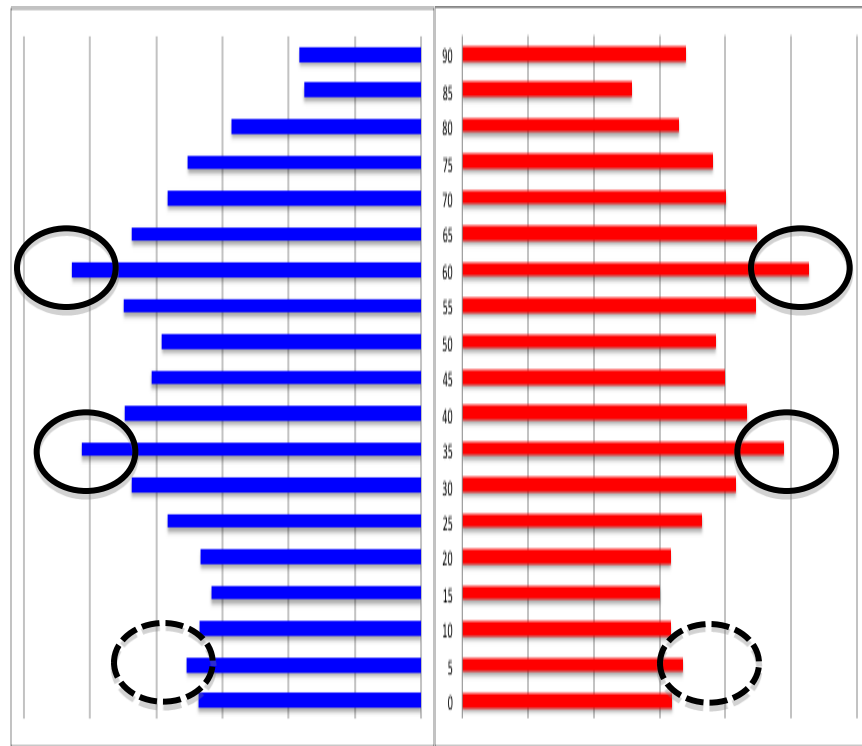


推計と実際の比較(2010年)

実際



推計



	実際(千人)	推計(千人)
総人口	128046	142536
男性人口	62320	70472
女性人口	65726	72064

推計と実際の比較(2010年)

人口のピーク

- 一致する2つのピーク
- 一致しない1つのピーク

∴ 実際 → 団塊ジュニアの少子化

推計と実際の比較(2010年)

人口サイズ

- 実際 < 推計
- 若年人口 → 出生率の漸減
- 高齢者人口 → 死亡率の算術平均

人口に影響する要因

色々なお金

- ① 介護費
- ② 教育費
- ③ 共働き？片働き？
- ④ 老後の貯蓄